

## 町政座談会（出羽地区）

日 時 令和6年2月3日（月）  
18：30～20：00  
場 所 出羽公民館

### 1．町長あいさつ

皆さん、こんばんは。町政座談会を開催しましたところ、こうやって寒い時期に多くの方に集まっていたいただきまして、大変ありがとうございました。町長に就任させていただきまして、ちょうど3ヶ月経ったところです。まず、皆さんとこういう会をつくりたいということで調整しましたが、どうしても日程が1月半ばから2月半ばという一番寒い時期に開催することになりました。大変心配しておりましたが、まず今週の出羽は何とかできたかなと思っています。この一週間で瑞穂地域を全てまわる予定ですが、何とか予定通りできればいいかなと思っています。こういう寒い時期に、お仕事でお疲れのところ集まっていたいただきまして、大変ありがとうございます。資料に今後取り組んでいくことという細かいものを出していますが、それに入る前に、少し今の状況や思いだとか、大きな話をさせてください。

今回もこうやって多くの方に集まっていたいただきまして。なるべく皆さんに思いを伝えていただきたいということで、12月の広報には、以前からあります町長室への直接届くFAXであるとか、瑞穂支所にも目安箱じゃないですが、意見箱があります。そういうものを使ってくださいと言いましたが、実は一つも入ってこないです。今の時代にFAXを出すのも大変なことですし、思いがあれば職員の方でも結構ですし、支所長に伝言でもすれば届きます。

ただもう一方で、今日、次第のところQRコードをつけています。スマホでこれを読み込んでいただければ、メールを送ることができます。直接、私に届くようになっていきます。町のホームページにもそういうものをつくりましたけど、これについてはお名前が書いていなくても匿名で大丈夫です。設計上、そういうことができるので。返信先がなくても思いだけを伝えたいとか、名前が出るとちょっとという方でも送っていただいて。名前がないから、どうということはありませんので、思いがあれば伝えていただければと思います。

今、就任して、今日の資料も本当は細かい数字をたくさん出せばいいのかもしれませんが、数字を追いかけていってもなと思います。その中で、一つは財政の話です。財政が楽ではないです。これを数字に出して示すべきかなとも思いましたが、大型投資が続いているので、何となく皆さんにはご理解いただいているかなという思いと、町政座談会が今、7カ所済んだんですが、いろいろなやり取りをしていると、財政が厳しいとあまり言うと、若い人たちは何もしてもらえないと思うとか、財政が厳しいからこれを止めるんでしょということになるので。

本当の思いは、出るお金は皆さんのお家や自治会と同じですけど、人件費や電気代が上がるということで増えていく。入るお金は年々増えるわけではないので、何とかやり繰りをして、そのやり繰りの中でお金を見つけ出して、皆さんのために使っていきたいという思いです。財政が厳しいから、何もかも止めるんじゃないで、これからも皆さんのために使えるようにするためのやり繰りのお話です。

例えば、本当に大変になると、町が潰れるのかと言われますが、潰れることはな

いんだと思います。じゃあ、何が困るのかというと、皆さんにしているサービスが難しくなります。例えば、この建物を地域で使うときに使用料をいただくことはないです。今日もそうですが暖房代や電気代がかかっています。それを負担してもらわなきゃいけないのかもしれませんが。水道代とか、下水道代は、かかる経費を皆さんに全額負担していただいているわけじゃないです。必要なお金の半分程度が実際に皆さんに支払いをお願いしているお金です。財政が厳しくなれば、かかる経費を全部くださいとなれば、今の倍以上払ってもらわないとできない事情があります。年々、電気代等は上がるので、上がった分だけ高くしたいですというのは理解していただけたと思うんですが、何も変わらなくて町の財政が厳しいので倍にしますは理解していただけないと思いますし、何のためにするかになるので、そこはやり繰りをして、今あるサービスを続けたいというのが本当に思いです。

じゃあ、そんなことができるのかという話になったときに、皆さんの生活だとか仕事もそうだと思います。今振り返って見たら、よくこれでやってこれたよねということがたくさんあるんだと思います。それは、環境が厳しくなっても、いろいろなやり繰りをしながら、その積み重ねだったと思います。今の町にそういう積み重ねが十分にあるかということ、来年度予算を今、立てていますが、なかなかちょっと厳しいかなと。そのままかかる経費が来年度の支出になって、予算を組むのが今大変で、それをどうしようかという状態にあります。

あくまでも、何もかも止めて皆さんにこれからは続けていけないという意味ではなくて、これから益々財政支出が増える中で、やり繰りをしてどうするかというための財政再建だと思っていただければいいです。当然、どこかで今まであった事業がなくなったり、皆さんに負担を求めることがあるかもしれませんが、それは何々の代わりにこういうことをしますということができればいいと思っています。誰かを切り捨てるとか、そういう思いではないということを理解していただければと思います。

一方で、町長が代わったから仕方ないよね、あの町長だからそうかもしれないと言われるかもしれないんですが、非常に突然、変えないといけないということがたくさんあります。一つは、今後、取り組んでいくことにありますが、小中学校の統廃合がそうです。今まで、ある程度段階的にいろいろしておけば、できたんですが、今はもう、するしかない状況です。それが、具体的な数字でいうと、今の小学校、中学校は一学年が70人程度です。それで、6年間で450人くらいいると思います。今の保育所は、0歳から6歳時までの6年間分の人数で300人で、一学年50人です。今、生まれているお子さんは、年に40人程度です。先にその数字を出せば、統廃合は当然しなきゃいけないし、学校も中学校は一つでいいよねという話になるので。そこはそういう意味ではないんですが、非常にいろいろなことを考える余裕はなく、やめざるを得ない。変えなきゃいけないということがたくさんあります。

今まで議論ができなかったというのが事実だと思いますが、何とかごまかしてやってきたけど、ごまかしきれなかった。ちょっと表現が悪くてすみません。町長も替わったので、この際、相談して変えたいというのもあります。

選挙前からそうですが、例えば社協さんが石見でのデイサービスをやめるとか。もうすでに現場は非常に疲弊している。特に、若い人や人材確保が難しく続けることができない状態のものがたくさんあります。それはそのまま、何もしなければ、サービスがなくなって、今の皆さんの生活を支えられないという現状があるので、

そこは支えるためにどうしたいのかということ、一定の統廃合とかやり繰りという意味では、変えていかないといけないところがあります。

私が町長になったからと、逃げるわけじゃないんですが、本当に何とか頑張ってみたけど、もうダメだねというのが一気に来た。それは人口が、合併したときには1万3千人くらいいたのが9500人というだけでも大きく違うと思います。その辺を少し理解していただいて協力していただければと思っています。

もう一点ほど、そういう中でも何とか地域の産業を支えていって盛り上げれば良いと思っています。例えば、道の駅を再整備しています。霧の湯も、この4月にはと思います。いろいろなところで復活してきて、それをつなげて、地域を盛り上げればと思うんですが、なかなか人手不足は大きな問題があってどこに行っても人が足りない。外国人の方をとという話になります。

農業振興においても、これだけ米代が高く、野菜代が高ければ、黙っていても米をたくさん作ろうとか、増やしたいとか、野菜を増やしたいとか作りたいとか、道の駅ができるなら加工品を出したいとか、こういうことをしてみたいんだというのが本来の姿だと思うんです。すごくチャンスなので。

ただ、なかなかそういう雰囲気を感じ取れないです。皆さんのところもそうなんだと思います。産業振興において一つは、そういう意味で農業はチャンスなので、そこで何とか今、後押しをして、この波に乗れるというのは変かもしれませんが、その儲かる感じが今、出ているのであれば、少しそういうところに踏み込んでもらいたいなと思います。勤めをしても、朝少し早く起きて収穫して出すとか。なかなか時代が違うので、難しいとは思いますが、種からつくってくださいは大変なので、野菜の苗を配るとか、少しつくることに関心を持ってもらえれば、産業振興上、すごくいいかなと思っています。

それらを踏まえながら、もう一つだけ大きな柱というか思いは、人手不足の中で矢上高校なり、島根県立養護学校の卒業生の人に、もう少し邑南町に残ってもらうとか、帰ってきてもらえればいいかなと思っています。高校振興ですごくお金をかけて、定員は満たしています。その実態は、県外からの生徒さんもおられるし、町外からの生徒さんもおられます。ただその人たちが矢上高校で学ぶけど、その後につながらないというのは、非常に歯がゆいものがあるのかなと思います。

どこの会場でも一緒に考えてくださいとお話しているんですが、全国的は流れに乗れば、専門学校とか大学に行くとか進学率を高めなきゃいけないと言われているけど、島根で進学率を高めると、どうしても県外に出て行く。邑南町でいっても、町外に出ていくということになって、親としても負担が大きい。地域としてもどうかと思うことがあります。大学や専門学校に行かなきゃ取れない資格もあるけれど、先々、いろいろな資格が有利なものわかるんだけど、この町に残ってそのまま働いて、地域を支えて、その中で本人が学ぼうという姿勢があれば、それを町が応援するということがあっていいのかなと。大学進学が全てではなくてもいいかなと、ちょっとと思っています。

もしくは、企業がされているように、邑南町で暮らすとどういう生涯が送れるかということを示していかないといけない。そういう形でもう少し、地元のお子さんたち、矢上高校に来ていただいた人たちに、この町に残っていただくことを考えられないかなと思っています。

その辺を踏まえて、今後取り組んでいくことと書いていますが、全部しゃべりませんが、少しずつ思っていることをしゃべらせてください。学校の統廃合も、財政

のことがあっても行財政改革も必要なことだと思っています。その後、何らかの形で必要なくなった施設や、斎場のように3カ所必要かどうかという施設は統廃合していかなきゃいけないですし、一方で、必要なくなったら全て壊しますじゃなくて、他の使い道を考えないといけないと思っています。企業誘致に使えるとか、産業振興だとか、他の目的で使えるのであれば、そういうことも研究しながら、施設の統廃合を進めたいと思っています。

その下に住宅の話も書いています。人手は足りないんですが、いろいろな話をすると最後には住む場所がないという話になります。公営住宅は、条件があるので、全てが全て入れるわけじゃないんですが、試験的運用見直しができれば、若い人所得に関係なく入ることができないかとか。特に若い人と書いてありますが、住宅や宅地の確保というのは、考えていかないと周辺の自治体に若い人が出て行く。この町に住んでももらえないということになるので、しっかりと考えていきたいと思っています。

産業振興についても、書いてあるとおりですが、極力、地元の産業や経済を支えたいということで、その一環として、さくらカードを上手く使えないかなと思っています。邑南町は、一軒一軒は非常に少ないんですが、多種多様な業者さん、事業所がある。お店についても、外からの資本が少なく、地元の人が頑張っているお店がたくさんある。石見だと、アベルやプラザ、瑞穂のフーズフーズさんのようにあるので、まずは頑張っている人を地元のためにという人を支えていければと思っています。

あとは、保健医療のことも書いてあります。日本一の子育て村も考えなきゃいけないですし、福祉施設の在り方ということで、子どもからお年寄りまであらゆる分野で。町が数字を出していなかったんですが、例えば、社協がデイサービスを辞められる。これから私たちの老後を誰が支えてくれるのかという話になるんだと思います。現実には、高齢化率は45%くらいでほぼ変わらないです。人口が減っている分だけ、65歳以上の人口も減っているのが現状です。そうすると、どうやってサービスを維持するかと。増え続けているイメージがありましたが、現実とは違うというそのギャップから、その在り方をきちんと検討しないと、いずれは皆さんが共倒れで、どこも成り立たないということになるんだと思います。特に、子育て世代を支えていかないと、子育てをする人と福祉施設で働く人は、ほぼ同じ人なのでそこを支えていかなきゃいけないという思いがあります。

財政が厳しいのでというお話をすることで、何もかも切り捨てるんじゃなくて、サービスを続けたいということと、良い面についてはしっかりとお金をかけていきたいという思いがあります。

その良い面の一つが、邑南町は一人一人の医療費が比較的安い町です。県内の中でも安い方です。それは、日頃皆さんが気を付けておられるとか、健康管理を十分にされているとか、町も保健師の活動であるところだと思えますし、結果として検診の受診率も高いです。ただ40代、50代あたりが非常に低いことと、若い世代は検診の案内が該当していないということもあるので、今後のためにも良い面はしっかり投資をしていきたいと思っています。

もう二つほど、最後のところを話をさせてください。今日、こうやって町政座談会を開いています。定期的にこういう会を開きたいということで、一つは皆さんの声を聞かせてくださいというのがあります。もう一つは、すみません、私はあまり出羽に来たことがないです。議員として意見交換会に来させていただいたんです

が、そのときとは出ておられる方が違うんだと思います。皆さんにとっては、顔を見て久しぶりに見る人がおれるとか思われるかもしれませんが、いろいろな会を開くとその時間に合わせるとか、出やすいところに出てきていただければ、普段なかなか町としても接点がない人ができてきていただけることがあります。

そうすると次から、いろいろな会を開くときに町としても協力を求めたい、皆さんも地域のことをしていただきたい人を探るときに、人材発掘の一つの場にならないかなと思っています。極力、こういう会を開くことによって町政や地域に関心を持ってもらえる場を増やしていきたいというのも一つのねらいです。

併せまして、職員の副業と上に書いてあります。公務員の方、役場の職員が副業をしていいかどうかとなると、私も今まではいけないと思っていたんですが、正しくは、許可を受ければやっていいものについては、してもいいということです。そうすると、お金を稼ぐだけというのもおかしいですが、そうじゃない部分で、地域のことに対してとか、人手が足りない簡単なことに対して許可を得れば、役場職員がすることに何ら問題はないです。それはそのまま地域の人手不足の解消にもなりますし、私自身の一番の思いは、地域に関心を持っていただきたい。それがそのまま今度は役場の中の他の仕事に関心をもっていただきたいという思いがあります。

就任してからずっと感じていたのは、今の町の課題は、一つの課で解消することができない。例えば、福祉分野で人材がいません、どうしましょうかといったときにそれは福祉の課が考えるのか、産業として考えるのか、定住として考えるのか。地域で農地が荒れてきています。鳥獣害の問題がありますといったときに、山の担当が考えるのか、だれが考えるのか、地域のことなので地域みらい課なのか。非常に自分の仕事が地域の課題の問題のどこにつながっているのか。自分の仕事ができれば、皆さんにどういうメリットがあるのかというのがつながりにくい。

例えば、私が批判的に思っているかどうかは別にしてください。施政方針や所信表明で一つもふれてはいないですが、例えば脱炭素先行地域、今、町は国の先行地域でCO<sub>2</sub>を減らしましょうとやっています。ただその手法は、太陽光パネルを付けましょうということで進めています。これを進めると地域の皆さんの生活の不安や、どこにつながるのかというのが、実は議員のときからちょっと疑問に思っていました。わかりにくいかなと。

賛成をしてどうこうではないんですが、住民の皆さんに、この事業を進めると、私たちの生活は良くなるの？と言われたときに、例えば農業であるとか、鳥獣害の問題や人手不足の問題にどう繋がるんだろうという疑問を持っています。それぞれの仕事はいい仕事だけど、常に疑問を持たないといけないと思っています。

そう思うと、もう少し山に力を入れた方がいいのかもしれない。そういう意味で、職員の方にも地域に出ていただいて感じてほしいですし、役場の中でも人の仕事に首を突っ込むのはいいことじゃないかもしれませんが、縦割りと言いますけど。関心を持つのはいいんだと思います。自分の仕事をよくするために、この人の仕事をもっと知ると、よくできるかもしれないというのはいいことなので、そういう関心を持ってほしいという意味で、副業なり地域にもっと出て行ってほしいと思っています。

正直、今、予算を組んでいるときに非常に苦しい状況です。なかなか、どうしていいかなと悩んでいます。一方で、就任した今でないと大きく変えることは難しいかなという思いもあります。ここで変えないと、これで一年を過ごしてしまうと、来年やっぱりこうしますという時に、受け入れてもらにくいという思いもありま

す。あくまでも良くするために、皆さんのためにという思いは変わりませんし、そのためにきちんとした財政運営や組織については2年間、このままさせていただければと思いますが、事業については今、変えるところは変えなきゃいけないと思っていますので、予算についても今、すごく時間をかけています。思いを伝えた中でご理解いただければ。4月になって新しい予算ができたときに、あの時の話からこうなったんだろうな。これは将来のために役に立つんだろうなと筋道として理解していただけるように勤めていきたいと思っています。

この後は、話し足りなかったり、皆さんの思いが私と違うとか、疑問に思うことがあれば、意見交換会とさせていただきます。普段はこの後に、教育長が5分くらいしゃべられるので、その間に、皆さん何聞こうかなと考えてもらっていますが、今日はないので。どこの会場もそうですが、誰か最初にしゃべっていただければ、皆さん聞きやすいんだと思います。誰か最初に手を挙げていただければ、大変助かります。こちらからどうですか？と聞く準備をできていませんので、ぜひ。こんなことを聞いてもいいのかなと、皆さんの前で言う話でもないんだけどという方も前もって言われますが、全然構いません。些細なことでも気がつかないことはたくさんあります。

今日、議員さんも来られていますが、最初に持ち上げなきゃいけなかったんですが。議会でも議員の方がおられて、町民目線でしっかり質問していただくと、気がつかないことがたくさんあります。ぜひ、いろいろな話を聞いていただければと思います。ごめんなさい、ちょっとタイミングを逃して。よろしくお願いします。

## 2. 意見交換

大賀総務課長 それでは、意見交換の時間ですが少々お待ちください。皆さまからご質問ご意見を頂戴したいと思います。手を挙げていただきますと、マイクをお持ちしますので、一回のご発言で一つずつお願いしたいと思います。できるだけ多くの方からご質問ご意見を頂戴したいと思いますので、ご理解の程よろしくお願いいたします。

はい、マイクをお持ちます。

三本松集落の行政協力員の〇〇と申します。今日、お話を伺えて良かったと思うんですけど、コミュニティスクールとか、そういう資料や、統廃合の資料があったので、まさにこれが聞きたいことです。行政協力員で来たんですけど、今、瑞穂小学校PTA会長2年目でして、瑞穂中学校のPTAの役員もさせてもらっています。それで、このコミュニティスクールと統廃合は、現場に入らないとわからない話で、一つの質問ではなかなか難しいんですけど。自分としては、小学校中学校が平成29年に国がエアコンをつけてよかったねなんですけど、電気代は町がもっているんで、子どもが先生に暑いですと言っても、ごめんけどお金がないからつけてやれないんだと言っているのが実情で、暑い暑いと言っています。小学校も同じような感じです。小学生はまだ要望を言えないので。それで、瑞穂小学校に関してはPTAから一部、電気代を出しています。

これは、学校教育法にも地方財政法にもこの辺をいつも聞くんですけど、義務教育の教育課程において必要な椅子とか机は、法律上、町が持たなければいけないとなっています。だけど微妙なものはすごくあって。例えば、カーテンが破れているとか、いろいろあるんです。町長さんの中で学校運営に関わる、それは町

が持たなければいけないという法律の中で、実際に学校は皆さんの中で学級に一つずつあるような黒板消しクリーナーとか鉛筆も、実は各階に1個しかなかったり、全校で3つしかなかったり。それは大きく学校というイメージから外れているんです。

だからこの前も、瑞穂小学校は幸い伊藤宣二基金というものがあるので、そちらでICTに使うスクリーンやモニターとか、そういうものを40万円分買わせてもらいました。でも、これが本当に法律に抵触しないかどうか、いつもビクビクしながら買っています。学校からはっきりしたおねだりはないですけど、現状はPTA会長として、皆さんと話し合っ、これは監視の目がないときは、理科の実験道具とか、そういうものとか、体育で使う高飛びのバーとか、校庭のブランコとかサッカーゴールも伊藤宣二基金で。これはPTA役員で、話し合いの中で買えるものなので、PTA会費で買っている。その役員のコンセンサスというか、全体のコンセンサスを得なくても扱えるお金なので、かなり瑞穂小学校は使えるお金は大きいんです。PTA会費をそこをどう使うか。学校としては、なかなか難しいと。プールの塩素もPTA会費から出してもらえないかということがあったりですね。おおよそ学校運営という部分で、これは出してはいけないんじゃないかというものをPTA会費から出したりして。そういうのをずっと何年も見ると、もう無理だと。統廃合は絶対にしなきゃいけないという思いになっています。

ちょっと長くなってすみません。去年の夏に県のPTAの大会に行ってきました。奥出雲町であったんですけど、奥出雲町は統廃合がまさに進んでいまして、人口は瑞穂の1.5倍くらいあります。面積は邑南町より狭いです。出雲部なので、教員も松江に近いので、あてがわれるというのはかなりいい条件であると思うんですけど、統廃合が進んで、8つか10ある小学校が、今、仁多小学校と横田小学校になっている状況です。ちょっと詳しくは忘れたんですが。これはプラスの話をしたいので、町長さんも来ていらっしゃったので、かなり冷や汗をかきながら話しておられましたけれども。

一番関心したのは、各学校のPTA会長さんですね、これが前向きでした。失礼ながら、各学校の管理職の先生なんかは、言い方が悪いんですが他人事のようにおられましたけど。やっぱり各学校のPTA会長さんは、自分の母校だったりするので、すごく熱心です。その方に聞いたんですが、統廃合して自分の学校の文化が消えるとか、どの学校の文化を残すとかでケンカになったりしませんかという話を伺ったんです。それはある部分もあるけど、どちらかと言ったら広がって行く中で、やることの選択肢が増えるんじゃないかという前向きな気持ちでやっていこうというようになっています。

例えばある小学校では、50年間PTAが地域との運動会を一生懸命やっておられると。それが消えるのは悲しくないですか？とすごくいい文化ですよと。それは、消えるかもしれないけど、それがまた一つの選択肢になって、別の地域のあそこに参加する可能性も出てくるとおっしゃっていて、そういうふうに、母校の方で保護者の方が多いので、そういうのを聞くと前向きに取り組んでいく部分がすごく。やっぱり学校の先生から意見が上がるというよりも、管理職の先生から上がってくるよりも、その学校のPTAから意見を上げてもらう方が、今の財政の部分でも何でもそうですけど、すごく意見が上がってきやすいと思うんです。もちろん自分の子どもがお世話になっているわけですから。

部活の統廃合もすごく難しい部分はすごくあるんですが、現状を見ると本当に統廃合しないと。エアコンの話もですが。県からの職員を当てがわれるという発想なんですけど、人口比率でいくと出雲部と石見って8対2くらいの比率なんで、たぶん県の職員さん、あてがう方からすると、こんな山奥のこんな学校に一人先生がいれば、30人から35人は見られる状況に、なぜこんなに職員を配置しないといけないんだという感覚もわかるんです。

だから、これが逆にここまできたら、本当に統合ありきで、現場の声を集約してもらおうなんですけど、子どもたちがかわいそうになるのは、エアコンの話もですが、どこかで邑南町の子どもはかわいそうだなみたいなことにならないようにするためには、例えばコミュニティスクールにしても小学校の統廃合にしても、ICTを活用する側面から見ても、公民館はすごく大事だよと。あとは地域資源というか、江の川があるとかスキー場があるとかキャンプ施設があるとか、プールがあるとか、そういう広い中で、それぞれが持っている場所の良さを皆で分かち合うような分断するような。

中学校では総合の時間とかありますけど、その中で細かに細かに野菜をつくっているおじさんは何か教えてくれないかな？とか、そういうことで一生懸命関わってもらったんですけど、そうじゃなくてスキー場も含めいろいろな邑南町という中で、皆を大きく動かして行って、すごく広大は場所で、すごく自然もあっていうものを、例えば、Wi-Fiの環境を整った公民館を中心にこれは地域みらい課も関係すると思うんですけど、バスでぐるーっとまわっていくような、そういう学びも一つ頭の中にあります。

今までの学校の常識で、これからものを考えていったら、本当に持たないので、それは大きく動かなければいけないというときなんだと。現状とイメージを、知恵とかいうのはたぶん学校の管理職からは絶対に上がってきません。リスクが高すぎるので。ぜひとも、そういうPTA会長とか、そういう人たちに声をかけて意見を上げていただけたら、コミュニティスクールと統廃合、あとはフリースクール、不登校の子どもも含めて自分の居場所づくりも。邑南町っていいところだよなと思えるような格好で。そうすると邑南町に来たいなと、邑南町で育ててもらったので、邑南町のために力を使いたいな、そういうふうに思ってくれる子どもが増えるような状況が今、ギリギリなのかと思います。だから最初は、これは理解してもらおうのは難しいかなと思うんですけど、ここで声を上げさせてもらったのは、PTA会長を2年やらせてもらったら、もう学校がきついです。かわいそうになってくる。

だから、ここで言うておきたいのは、衝撃的だなとということを書いておきたいんですけど、職員室にある一定の電気代を超えたら、ブザーが鳴るんです。先生がブザーが鳴ったねと、どこかの電気を消さないといけない。これは去年の夏の暑いときにも鳴ってました。先生たちはどこか消さなきゃって。それを聞いてびっくりしました。これ瑞小だけですか？と。いやー、どうですかねと。それで聞いたら、瑞中もでした。ということは邑南町は全部そういうブザーが付いている。だれがどの時点でつけたのかわからないんですけど。子どもたちにこういうことをさせてはいけないと思います。だから、本当なら、財政とかわけのわからない財務省がわけのわかんらんことを言っとるんですが、それは今はどうにもならないんだったら、統廃合をがーっと進めて、子どもたちにいい環境を少しでもつくってやるというのが、この数年でやるべきことじゃないかと思います。

大屋町長 ありがとうございます。ちょっと話を整理させていただくと、学校の統廃合については、来年度、教育委員会では学びの在り方として、邑南町の子どもたちにどういう教育の仕方をすればいいのか、そのために学校はどうあるべきかという話を進めてくださいと言っています。地域みらい課には、コミュニティスクールもありますし、地域の関わりとして学校配置をどうしていけばいいのか、地域の中で学校はどうあるべきか。もしくは、教育の中で地域の関わりをどうすべきかという話をしてくださいと言っています。私はこうやって皆さんの声を聞かせていただいております。一年かけて議論して全く違う答えかもしれないし、同じかもしれないし、あらゆる面でまず考えています。

それと、学習環境でお金がないというのは、ある意味、別だと思っています。PTAでと言われたとおり、非常に大変申し訳ないです。財政が厳しいという中で、現場からの要望に担当課が予算の関係で要望に応えられませんというものは、町長までは上がってこないのので、要望が全部来て、私の責任でこれはごめんなさいとする世界ではないところもあって、現場では財政が厳しいのでというのがあります。

今回の査定の中で、子どもたちの学習環境や生活環境に関わること、例えばトイレの洋式化、統廃合があれば、無駄な投資かもしれないけど、今の子どもたちのためにはしなきゃいけないということはきちんと予算をつけますという話をしています。電気代やエアコン代もそうなんだと思いますが、ちょっとそのあたりをどう見るかは別ですが、スタンスとすればお金がなくて学習環境を整えることができないから統廃合をしますはいけないと思っています。

まず、どちらにしても、来年も再来年も今の状態でやる以上は、学校の環境はきちんと責任を持ちたいと思います。私も高校のPTA会長をしていてPTAの在り方を思う中で、そういえば以前、議会でも学校でPTAの予算を使ってどの程度維持管理をしていますか？把握していますか？と聞いたことがあるなと思いました。答えは、していません程度で、そこから先を追求していないのはこちらの責任なんですけど、PTAが今、社会でも問題になっていて、絶対加入じゃない中で、自分たちの活動に使うのが本来だけど、町の小中学校でそういうところに備品だとかに使うのは好ましくないことだと思っています。

いろいろな面で、保護者の声を聞きながら進めたいですし、コミュニティスクールというのは、今、保護者だけが頑張って学校維持になっていきますけれども、少し地域の方も協力してもらって。どの程度というのものもあるにしても、奉仕作業とか、良い悪いはありますが、保護者だけではできないところをカバーしてもらえれば、一番いいと思っています。PTAに現状、それだけ負担をかけているというのも好ましくないですし、学校現場がそれだけやり繰りしていることが、大人がやり繰りして何とかならいいのですが、子どもたちに直接影響があるのは好ましくないの。それを役場がやっているか、自分たちがやっているかという別なので。財政と統廃合は別ではありますが、教育に関してはしっかりお金をかけさせていただきますし、統廃合は別の意味で、子どもたちの学びを支えるフリースクールとかそういう話もありました。学習機会をどうすれば確保できるかということで進めたいと思っています。ありがとうございます。

大賀総務課長 ありがとうございます。他の方は、いかがでしょうか。

私は、元気館でプールに行きよったんです。去年の11月頃に止まりまして、1ヶ月半ほど休んでおりました。そのときは、町長さんが新しくなられたので、

予算のことで改修が遅れとるんだらうかと思いましたが、そういうことがあったんでしょうか。

それと、もう一つは、検診の結果が5枚くるんです。私たちは二人暮らしですが、胃がん検診、大腸がん、夫も前立腺がん、それで5枚来るということ、5枚袋もいりますし、5つとも110円に上がります。そんなことをせずに、一つのところに来るんだだけえ、一つでいっぺんに来ればいいのにとします。もったいないと思うんです。いっぺんに袋にするのが手間がいるのか、一枚のハガキに今頃は、隠すぶんがありますわね。それに丸がしてあって、あなたには全部異常はありませんなら、全部丸で異常はありませんで来れば、一つで済むのにとしますが。小まいことのように、それこそ財政が厳しいなら無駄なことは。今でいえば5枚来ますので550円もいります一つの家に。それから、袋を破るときがとてもドキドキします。何でもないことで。どがあだらうかと思します。それよりもぱらっと見れば一つ丸がしてあって、この度は何もありませんなら、ただそれだけで済みますので、いらんお金を使わんようにしていただきたいと思します。以上です。

大屋町長 ありがとうございます。最後にちょっと言ったんですが、議会の議員さんもおられて、皆さんのという中で、さっきの学校の話もそうです。何となくわかっていながら、そうやって言うていただければ大変助かりますし、仕事上、ついつい、これを一緒にすると早いんだけど、段取りが狂って間違っはいかんので、一個ずつ出そうと、僕らも個人でやるときはいろいろあるんですけど、やっぱり無駄だと思うので、そこは工夫させてください。お気持ちも。

それで、元気館のプールの詳細は副町長に話をさせていただきますが、今の町で非常に困っているのは、何もかも施設が古くて、維持費がとか思うんですが、町は建ててしまえばおしまいです。維持費がどうだとか、経営がどうだとか、人がいっぱい入っていると、仕組み上です、職員が悪いとかどうこうじゃないです。どうしても維持管理が疎かとは言いませんが、判断が難しかったりして、あるときに壊れてご迷惑をかけることも多々ありますし、担当者で何とかすればいいのにと見ておきながら、予算もなと思うと、先延ばしとか。

まだ私の思いです。来年度くらいからは、少し職員さんとか違う課の課長とか、財政の担当者とか副町長とか、なるべく現場に行つて、これが困っているんだけど、このままでいいと思う？ どう思う？ と判断してほしいと。現場で判断がつかないことは、やっぱり見に行つて、話をして、先々で維持管理費がかからない仕組みも考えないと、続けていけないかなと思つています。

それじゃあ、元気館の話を少し。

白須副町長 質問ありがとうございます。副町長の白須と申します。元気館の故障では、非常に迷惑をかけて申し訳ございませんでした。先ほど、町長も言いましたが、施設が古くなつて故障が発生して、昨年のも元気館も老朽化で故障が発生しました。それで、期間がかかつてしまったんですが、どこが悪いか調査をした上で、それを直すためにいくらかかるかというのがわかつたら、予算が確保されているうちでできる修繕ならいいんですが、ちょっと見積もりが高かつたもので、しっかりとその分は予算を確保しないといけないということで、その一連の手続きで時間が必要になりました。

なるべく早く皆さんに利用していただくように急いでやつたつもりではございますが、どうしてもちょっと手続きに時間がかかつたことで、皆さんにご迷惑を

おかけしたことをお詫び申し上げます。

それなら、今ここに書いてありますおおなんさくらカードを使ったポイントの付与。これはプールは人が今頃は少ないんです。プールに来ればポイントが一日に一つとか、そがあなところに使われても。筋トレの方は割合おられますが、プールは、今時は着替えるのが寒いとかでなかなか人が来られません。私はほとんど毎日行っております。別にポイントがほしいわけじゃありませんが、このカードを使ったポイント付与とありますが、ああいうのにも使われるとか、広告や宣伝もしていっぱい来ていただけるようにされんと、だんだんと人は少なくなると思いますので。川本がいつ頃だったか、ダメになるという話を聞いておりましたが再開されました。あがあなことにならないようにやっていただきたいと思ます。

大屋町長 ありがとうございます。こちらの立場とか、議員のときもそうだと思うんですが、あれはやれんとか、あがあなことをせんでもいいという話はよく来るんです。これを続けてほしいんで、こうしてほしいとか、私は助かっとなるんよという話は、なかなか聞くことがなくて。ついつい否定的な声の方が大きくなってしまいますので、今の時代はちょっと不快に思われる方があれば、大多数がよくてもできないということがあって。特に、プールとか先々でお金がかかる中で、どれだけの皆さんに役に立っているかということ、やっぱりこういう場でいいんだと言っていたらと、僕らも考えが変わってくるし、残すためにしなきゃいけないかなと思ます。

ちょっと話は違って、おっしゃるとおりで、さくらカードのポイントでというのは以外とあちこちで、特に女性の方から聞きます。こういう会に出てきてもポイントが付くとか。独り言ですよ。一回1ポイントで毎日行っても300ポイントくらいなんだけど、何でそんなに嬉しいんだろうと実は思いながらも、今日もこういう話があったので、やっぱり違うんだと思ました。そう思うと、図書館で本を借りてもポイントが付きますし、こういう場とか、ちょっとそのポイントはそのまま町内での消費になるので、少しその辺も考えさせてください。ありがとうございました。

大賀総務課長 ありがとうございます。他の方はいかがでしょうか。

座ったままですみません。

大屋町長 座ったままでどうぞ。僕も座ったままで答えるようにします、すみません。

この間、町からアンケートが来て、答えながらまとめるのが大変だろうなと、ふと思いました。ここに2次元コードを載せておられますが、もうちょっとデジタル化を推進して、例えば八ガキ通知で賛同できる方は、通信はかかるけど、この2次元コードから答えてくださいとすると、データの集約も早くなるし、その分、職員の方の負担も少なくなるんじゃないかと思っています。現状がどうなのかわからないので、もしかしたらトンチンカンなことで、もうやっているよということになるかもしれませんが、そういうところで、働いておられる職員の方のそういう負担をなくして、他で時間をつくっていただくというのは、とても大事だと思ますし。

これお金が発生しますから、簡単には言えないんですけど、いろいろな提案とか検討のときに生成AIを活用してそこの意見も参考にするとか、そういうデジタル化を推進していただけたら。働く方に余裕が生まれると、その時間でまた他

のことができるし、心の健康も保たれるんじゃないかと、ふと思いました。これは私の意見です。

大屋町長 ありがとうございます。今日もいろいろな課と話をする中で、ある程度、スマホでのやり取りができることは、そういう方向でいきたいですねと話をしています。使える方、使えない方とあるんですが、スマホを持っていただいている方は使えるだろうなというのと。ただ年代的に、75歳を超えられると、ちょっと所持率が低くなるというんですけど。お二人で住んでおられて、どちらかが持ってもらえればいいかなとか。ちょっといろいろな話をしました。

今、来年度からまた総合振興計画をつくるという中で、いろいろなことをするのに、できればスマホでアンケートが取れないかなという話をしています。何年かに一度のきちんとした統計調査、今は農林業センサスとかお願いして終わっている時期かもしれませんが、それは併用したり、紙もつくらなきゃいけないけど、間で少し皆さんの意見を聞きたいですというのは、こういうQRコードで案内をして、そこで答えてもらった人だけで一部になるけど、簡単なやり取りで意見を聞く。メリハリをつけてできればと思います。

おっしゃるとおり、できれば事務の手間を省いて、その時間を自分の時間か、もしくは皆さんと接する時間を増やせば一番かなと思います。

生成AIは、ちょっとそこは考えます。個人的にはたまに使うことがあります。第三者的に、客観的に見てもらえるのでいいかなと思います。

白須副町長 生成AIについては、私も個人的には使っているんですが、まだ役場でしっかりとした検討とかルールづくりとかは、ちょっとまだされていない状況です。

ただ、デジタル化の方向性というのは確実にその方向にありますので、職員の負担軽減、それから住民サービスの向上という意味で、ぜひ前向きに検討はしてみたいと考えております。ありがとうございました。

ちなみに、私は日本人学校でイタリアに行っていて、あちらのPTAはアンケート全てメールでした。これでした。ですので、1日か2日で集まって、すぐに集約ができたというのもあるし、時間は有限です。ありがとうございました。

大屋町長 ちなみに、今回QRコードをつけていますが、始まりは何かの記事で、こういう会でやりとりをしたときに、皆さんその場で思ったことをスマホに打ち込んでもらえれば、ここにプロジェクターか何か置けば、すぐに出る。それで、どう思いますか？と×でとか、やりとりができて。スマホをお持ちで初めてでもお教えすればできるんだと思います。

それがあったので、QRコードを付けてその場でなくても、意見を後でも出してもらいましょうと、全員を対象にできないけれど、大多数とか一部、協力できる人ということであれば問題がないと思うので、積極的に考えていきたいと思っています。ありがとうございます。

大賀総務課長 ありがとうございます。他の方はいかがでしょうか。

常識の外れたような問いになりますが、空き家対策と固定資産税について、ちょっとお願いも含めて話したいと思います。事情があって、空き家をどうしても管理せにゃならんことで、去年から固定資産税がびっくりするような税がかかっています。役場にも相談に行きましたが、空き家対策の登録が役場でできるということで行きましたが、ちょっとこれは、ハザードマップで条件が悪くて登録にはなりません。そうですかと。それでも、固定資産税はいりますよね。かなり

私の経済には負担になっておるんです。

それで、業者にいっぺん広島の方から来てもらって、見てもらいましたが、これは家が大きすぎて話にならんというような、一般的な大きな家なんです。それが今年の固定資産税が来ますので、何とかこの空き家を役場が管理者になって固定資産税はその間は免除する。それがまた賃貸や売却で金になれば、当然今まで役場に立て替えてもらった固定資産税は、そこで相殺で差し引いて残りをやるとか。解体のことも考えたら、数百万円かかるんで、ように困っているんです。

一つは、こんな夢のようなことを言ってもダメだということになるかもしれませんが、最近は大きな災害が各地でありまして、生活に困っておられるというような方が多分にあるわけですが、そういう方を迎えて、その家に住んでもらうようなことができるものか、できんものか。できれば、そうしてもらいたいということをお願いしたいんです。以上でございます。

大屋町長 お気持ちは非常によくわかりますが、なかなか本当に申し訳ないです。今、町で持つというのは難しいです。災害時というアイデアもいただいたんですが、ああ言えばこう言うというところがあるんですが、公営住宅も空いているので、町としては他の自治体に何かあったときの受け入れ先も十分あります。本当にすみません。

大きな家ほど、今は若い人とかIターンで来られる方は管理が難しいので、なかなか好んでもらえないです。場所がと言われて、そこをどうクリアするかはあるんですが、壊して更地にして場所がわからずしゃべっていますが、極力安全な場所で自分たちが住める程度の家にするということであれば、買われた方だと思うんですが、解体に少し補助と建てるのに少し補助があったと思います。それは買われた人だと思うんですが、今持っているものを何かというと、非常に申し訳ないです。

ただ、一つだけ言い訳をすると、昔は持っていて固定資産税を払えば、国保税とかも資産に落ちてとかあったんですが、今はそれがないので、持たれていても固定資産税だけで済むので勘弁してくださいという言い方は変ですが。その辺り、買われて更地にして、誰かおられれば、今はそれが一番いい方法かなと思います。非常にすみません。協力が。

ちょっと、個人資産になってくると非常に関わりにくくて、ちょっと雑談です、余談です。家が大きくてというのもあるんですが、併せて農地が付いてる、やまが付いてる。自分たちに息子の代は邑南町に縁がないので、所有者や相続がはっきりしている間に処分したいですという相談は、司法書士さんのところにもたくさんあるみたいです。買いたくても農地が付いているので、買う人が少ないとか、山だけでも町が持ってくれんかとか、いろいろあるんですが、非常に申し訳ないですが、今のところ個人のものについては、町も管理しきれないので。

ただお話を聞いてまた役場の中で、そういうのをどうしていけばいいかとか、相談はさせていただきます。

大賀総務課長 ありがとうございます。他の方も、はい。

すみません、ちょうど今〇〇さんの思慮に富んだようなご発言があったんですが。私のいろいろな情報の中で、お試し住宅に取り組んでおられる自治体が結構あると認識しております。と言いますのも、こちらに来られてすぐ入居ということも想定できるんですが、空き家の改修とか、新しい住宅も、そんなに十分に供給できる体制に、今あるとは思えません。そういったときに、ここの地域で一週

間でも、数日かかもしれませんが、ちょっと来てみたい、見てみたい、この町に触れてみたいという、関係人口ということにもなるのかもかもしれませんが、そういった取り組みのために、先ほど ○さんが言われたような住宅を町が借り上げて、そこに来ていただく場所をつくる。それは他にも、地域的に数か所、設けてもいいのかもかもしれませんが、そういったような取り組みは、お考えになることはならないでしょうか。

大屋町長 ありがとうございます。ちょっと過去にお試し住宅をやりますという話がでて、だけど結果的に予算はつけたけどしなかったときがあるんです。今、お話を聞いていて、○さんのお家をお試し住宅にするかという、たくさん要望が出てくると困るので。例えば、邑南町で体験していただくためのお試し住宅をどこかにつくる。それで、その間に邑南町の暮らしを経験しながら、空き家を何軒か回っていただいて、条件に合うとか、ここなら住めそうとかいうのをしてもらおう。

それで今日ちょっと、保育所で一時預かりとか、保育所のお試しという話もあったりして、制度的にできる保育所とできない保育所があったんですが。今、地域おこし協力隊の方にも、お試しではないけど一回来てもらってということもしています。突然来て、この町でというのも大変なので。

少しアイデアとしてどういう形で実現できるか考えさせてください。それがそのまま空き家対策になればと思います。ありがとうございます。

大賀総務課長 ありがとうございます。はい。

私は財政再建、町長さんの申されていることに非常に同感、感銘しているわけですが、財政再建にあたってはいろいろ意見があると思うんです。これだけは別途、公聴会というか、財政再建だけについても場を設けていただければ嬉しいかなと思います。

それで、一つは総合振興計画というのは、今は第3次を作成中というか、来年から作成されるという。今、2次が進行中なんですけど、この方針において、P D C Aというのをまわしてもらえればいいかなと。Pはプラン、あるいは方針ですけど。Dは実行、D 。それからCはチェック、最後のEはアクション。

10年の振興計画一つとっても、10年というのはいかにも長いと。1年とは言いませんけど、何年かに一回はそういうP D C Aをまわしてもらって、効果を確認してもらってアクションを。うまくいっていたらそれでいいし、問題があればアクションを起こしてもらおうというように、P D C Aを何をされるにしてもまわしてもらいたいと思います。

それをするにしても、財政の再建というのは、今の町の財政は間違っているかもわかりませんが、地方交付税と地方債、それで数10%を占めていると思うんです。国も新聞を見ていたら、地方交付税も下がるんじゃないかなと。だったら、今の状態でいろいろ施策を遂行するにあたっては、地方債を増やすというようなことをしたら、北海道の債権団体じゃないですが、若い人の先が悩ましいことになるんじゃないかと、このように思っておりますので、ぜひ財政改革については、これ一点に絞って場を設けていただければ、うれしいと思います。以上です。

大屋町長 ありがとうございます。今、いろいろなご意見をいただいて、よくご存じで、よく調べておられるなという思いを持つ中で、いろいろな情報を出すから、皆さんで考えていただけるという思いが、私も最初にあったので、財政再建だけの説明の場というか、説明しながら一緒に考えていただく場を。

さっき言われたとおり、封筒を一つにすればいいじゃないとか、それから始まって、創意工夫だとか、やり繰りなので、どのタイミングでどうして、どういう内容かというもあるんですが、いろいろな場を設けたいというお話をしたので、その一つのやり方として考えさせてください。ありがとうございます。ぜひやりたいということを考えていますということで。

すみません、いろいろな場で、ずっと好き放題しゃべらせていただいているんですが、町長がやると言えば、できるかと思われるんですが、必ずしも。課長方に、いやーといわれると、最近ちょっと弱いところもあるんですが。今日もこうやってしゃべっていると、今日も職員さんがおられて、副町長も総務課長もおられるので、皆さんの声がここだけだと思ったら、違う会場でも同じ話が出てきてやっぱりなという認識になるので、そうやって皆さんの前でしゃべっていただいて、共通の認識をもっていただければ、私の思いも聞いていただいているので、ぜひこうして皆さんと一緒に考える場、アイデアをいただける場をつくれればと思います。ありがとうございます。

続けて、今日の資料で財政再建というのがありますが、これをする事によって、どのくらい改革になるのか、効果がどのくらいになるのかを示してもらえれば、なおわかりやすいというか、皆さんも、町の財政はこんなに悪いのかと協力する方も多数出てくるんじゃないかと思っております。

文章でざーっと、これもいいんですけど、数値目標というか、これをやることによって地方債はどのくらい減るかとか、こういうふうに具体的に書いてもらったら。財政再建することによって、社会福祉とか補助とか、援助も同じだけど、実際に実行できますので、よりそれを充実するためには、財政再建がまず何より大事だと思っておりますので、ぜひそのようにお願いしたいと思います。以上です。

大屋町長 ありがとうございます。役場の中も今、副町長を中心にそのチームをつくっていただいています。その中でも、目標であるとか、これをするとどうなるとか、それがないと職員皆さんでとか、そのメンバーで共有できないところがあるので、少しその辺りも整理しながら、また場を設けさせていただいて、お話をさせてください。ありがとうございます。

大賀総務課長 ありがとうございます。他の方は、いかがでしょうか。

さっき、一番最初に ○さんが、学校の統廃合の話がされました。まさにそうだなと思います。年々、児童生徒が減る中で、今から2年くらいで検討していくということなんですけど、なるべく早く結論を出していただいて、統廃合するんだという結論が出れば、いろいろな雑音も入ってくると思うんですが、早めに実施していただかないと、うちの町の教育環境がいいわけじゃないです。ある意味、劣悪かもしれません。そういう中で勉強しているのが、それがだんだん延びていくと、長い間そういう子どもがずっといるということなので、早めに結論を出して、ぜひ早めに実行してほしいと思います。

それと、もう一点なんですけど、よく行政は地域に寄り添ってとか、地域の皆さんの目線でとか言われます。私がすごく疑問に思うのは、行政の各課のことなんですけど、名前が非常にわかりにくいんですよね。例えば、よくお世話になる地域みらい課、地域みらい課って実際何なの？ということもあるし、情報みらい創造課、それ何なの？と。私も行政の経験あるんですけど、私も全然わかりません。

最たるものは、学びのまち推進課とか、学びのまち総務課、これ何なの？と思うじゃないですか。その辺は、住民の目線に立って組織の中の、そういうサイン

を出していないと思うので、できれば、これは、前の町長さんのときの話なので、代わられたので、ぜひとも。今はできないでしょうけど、4月くらいには、中で検討されてなるべく住民の目線でいろいろなことをやっていただきたいと思います。

それにつけて、もう一つ思うのは、元気館に行くと、男女ともサインが青なんです。男も女も青。結構間違えて女性も青なので、入られる方もいらっしゃるし、トイレはどちらがどうですか？というようなこともあるんです。それはおそらくジェンダーとか、そういう問題をいっていると思うんですけど、その啓発が全くされていないんですよ。ましてや、公民館は昔のままのサインです。あそこの元気館だけ、一番大きな中心の元気館だけがそういうふうになっているんです。そうするなら、あらゆる施設の中で、こういうことで、こういう意味で、だからこうするんですよということの啓発をしてもらおう。それも教育ですよ。その辺がすごく欠落しているんじゃないかと思うんです。あれをつくった以上は、こうだという本気度を皆さんに示すべきだと思うんです。

よく言われるのは、行政はいろいろな部分でいろいろな計画があります。そうすると、委員に参加した人が一生懸命、我々も自分の仕事を調整しながら忙しいのに出て来て、計画をつくるんだけど、行政は本気度を見せない。文章はつくるけど、文章にしたものをどうするんかという本気度を見せてほしいと、よくあるんです。

まさに、今のサインもそうですけど、あらゆるところで本気度を見せていただきたい。学校の合併云々があれば、2年くらいで結論出してどうするんだという本気度を行政が示してもらえれば、我々も一緒になって考えていけると思います。以上です。これは回答も何もありません。

大屋町長 回答させてください、簡単に。ありがとうございます。ちょっと最後の方からいきますが、本気度と言われたとおり、いろいろなことで協力していただいています。その成果をきちんと返さないと、次に協力していただけないと思っているので、協力していただいたことに対してはしっかり応えていきたい。じゃあ、また協力しよう。この会もそうです。出て来て話を聞いてもらって、すぐに変えられるかは別にして、毎回出て来て、言っただけで何も変わらないねとなると、だんだん減っていくので。やっぱり出て行ってしゃべった、何かお手紙出したら、聞いてもらった、変わったという仕組みは大事だと思っています。

ジェンダーの話をいろいろあったんですが、内部のいろいろな話になるので置いておきます。

課の名前は、あちこちで言われています。行政側が思って付けた名前なんですけど、思いがしっかり届いてないんだと思います。漢字2文字くらいにした方がいいという話も聞きます。それで、これは就任したときに言ったんですが、2年間は、ごめんなさい、このままさせてください。2年後に課の統廃合も含めて整理させていただきたいと思います。この2年間というのは、一度変えてしまうと看板代や封筒代とお金がかかるので、少し時間をいただきたいという意味です。そこまでかけるのかはあるんですが、じっくり議論して、これから先にどういう名前ですらという課で、どういう職員体制であればいいのかということで、まず課の名前を変えなくても職員異動から変えていくこともできるので。ちょっと申し訳ないところもあるんですが。ただ、こういう意見が多いので、そこは2年が1年かもしれないです。早めないといけないかなと思わないこともないです。

学校の統廃合は皆さんのご意見を聞かせていただきたいです。議会の一般質問でも所信表明でも、2年間で結論を出して統廃合は少し先にと考えていました。それは、これから入るお子さんたちが、この学校は何年後かにはなくなる、このままあるということを考えて入って、少し時間をかけたい。小学校の3年生くらいのお子さんが、統廃合するらしい、6年生のときにはこの学校がなくなるという形がいいのか。という思いがちょっとあります。その進め方に。

ちょっとニュアンスだなと思ったのは、気を付けないといけないと思っているのは、それぞれの公民館単位で小学校があるところとないところがあります。保育所があるところとないところがあります。両方ないところもあります。学校は地域のために必要で、地域の発展には必要だと議論されるところもありますが、一方でこうやって早く決めて、早く教育環境を良くすべきだという議論も正しいんだと思うんです。それぞれの地域の中で、学校のあるなし含めて、背景もあるあるかと思っています。統廃合はしなきゃいけない、ただ時期についても、教育環境も含めてもう一度整理をさせていただいたり、来年からの議論の中で考えさせてください。

2年間でという意味は、1年目でほぼ結論を出した中で、2年目は説明をして住民の理解を得たいという思いです。そういう2年間のつもりではありますが、いろいろなご意見をいただいています。ありがとうございました。

大賀総務課長 ありがとうございます。他の方はいかがでしょうか。

岩屋の ○でございます。石橋町長が20年続けられました。去年の10月には、農家待望の農家から出られて専業農家をされていて、議会議員も十分な経験を積んでおられる大屋町長さんが誕生されたことに、私たち農家の者は、非常に心強く思っております。

そういう中で、農業問題についてお話をさせてほしいんですが、私も後期高齢者で、高齢者は今増えておりますが、今度はそんなに増えない。高齢者になる人が少なくなるので増えないかもしれんですが、やはり年を取りますと、どうも農業をするのも大変で、する気力も落ちますし、体力的にも落ちるわけです。

そういう中で、耕作放棄地がどんどん増えている。出羽全体ではないですが、ちょっと奥に入って谷間には、耕作放棄地がたくさんあるわけです。これは、振り返れば、2018年の転作事業を国が弾いてしまった。だから、そのころは3割は転作をしようとしたんです。その転作は、コスモスをつくっても景観作物も補助金も出よかったんです。だけど、それは廃止して稲をつくってもらえるかと思ったところが、なかなか転作地を水稻に還すということがほとんどできておらんで。今の水稻をつくる面積は、ずっと横ばいではないかと思うんです。

そういう以前は転作制度があったので、農地も守られていたんですが、それが今の政府も転作奨励金はやめるとなると、それと農家が減るということもあるんですが、やはり耕作放棄地になってしまう。この耕作放棄地が、やはり4、5年しますとススキ野原になってしまいます。そうしますと、有害鳥獣の住処にもなるわけなんです。そういう中で、へき地は苦慮しております。

まず、私が一番気になるのは、そういう所に住んでいる者の住環境が悪化する。例えば、私も一生懸命頑張ってきて、息子も50歳少々で、サラリーマンを定年すればやるんじゃないかと思うんですが、孫にこういう環境に残って、ふるさと邑南町に残れと期待はするんですが、こんな環境で残るかどうか、そういう気持ちも湧くんです。子育て日本一の村を目指しておられる中で、子育てをした子ど

もが将来この邑南町を継いでくれるようでないと、今のようにへき地においては、耕作放棄地がどんどん増え、住める環境ではなくなるんです。岩屋の奥の方は限界集落に近い、これはもう5年10年したら消滅集落になってしまいますよ。そしたら農地はみんなススキ野原になる。非常に残念なことなんです。

今度は専業農業者の大屋町長が誕生されましたので、農政に関しても言うのはみやすい、やるのは難しいことなんです。そういう所にも環境面での耕作放棄地を農地に戻すように、何とか対策とか考えを示してほしいと思います。答えはいいです。

大屋町長 ちょっといろいろ悩んでいて、いい表現がないなと思っている中で、住環境が悪化すると言われて、この言葉はいいなと思ったんです。いろいろな場面で、農地は里山周辺から全て残したいと話をしています。それは、いい場所とそうじゃない場所を分けて、いい場所だけ管理すればいいじゃないと言われるんだけど、そうじゃない場所の住環境が悪くなるとか、耕作放棄地になれば、いい場所も悪い場所になってしまう。どんどん山が深くなるとか迫ってくるというか。そういう意味では、一番奥地と言ったらごめんなさい、きちんと残さなければいけない、住環境もそうですし、鳥獣害もそうですし、水路も全部奥から来ているということもあるので、何とか残したいという思いがあります。

そういう思いで今後取り組んでいくことの産業振興の下から二番目の丸に、農地の維持のための周辺林地の管理を含めた総合対策の実施ということで、山の整備に合わせて住環境もよくなるような。耕作放棄地はどこでも話が出ます。余計なお節介かもしれないけど、それがどうなの？と思う方もおられるかもしれないし、昔は人がたくさん住んできちんと管理されているのが、今はしていないのが寂しいと思う方もいるので、地域の人々の生きがいを思えば何とかしたいなと思います。

じゃあ、どうするんだと言われたときに、基盤整備にしても、少し工夫ができないか、自己負担だとか集約の仕方とか、集めれば集めるほど自己負担は減るんだけど、そこをどうするかとか。

一方で、今まで集落営農ということですとずっと来たけど、個人で請け負う人を育ててこなかったんで、そういういろんな場所に行ってみようという人を育てないといけないし、バックアップしなければいけないと思います。

つくれる状態であれば、昔ほど集約的に生産性や収量を高めなくて、ある程度、簡易な管理で最低限、採れればいいのか。野菜にしても同じ土地で一生懸命つくって連作障害が出るなら、今年は耕起だけする土地、こちらはつくる土地とか選べて、もうちょっと楽な農業という言い方は変ですね。つくりやすくできないかなとも思っています。そういう意味で、所信表明でも技術と書いたんですが、ちょっと創意工夫で、広く管理してやる方法もあるんじゃないかと思うんです。

最初に〇〇さんに言ってもらったとおり、私も山際での生活なので、今までとは見える視点が違うので、少し違った始点で町内全域が何とかの残せるように頑張りたいと思います。また、いろいろ相談させてください。ありがとうございます。

大賀総務課長 ありがとうございます。他の方はいかがでしょうか。

失礼します。財政再建の中に、公共住宅運用見直しと謳ってあります。これを具体的にちょっと聞いてみたいんですが。私事で大変恐縮なんです。出羽の三本松住宅の〇〇と申しますが、ここに住まわせていただいてお陰様で42年です。

もちろん、ここは所得制限で、定額制ではないので、所得が高いときにはめい  
いっぱい払わせていただいて、いくら払ったかは自分でもわかりません。それで、  
今もここに住まわせていただいております。今後のことは、自分もいつまでも公  
共住宅でお世話になるのもちょっとなと思って考えているんですけど。

とりあえず今住んでいて、これも老朽化してきました。42年が経っております。  
付属の備品、水道の施設の配管とか、吹き塗りとかは替えていただきました  
が、これができたときには邑智郡でも3階建ての初のとかいう謳い文句で大変よ  
かったんですが、今はちょっとお荷物的な感じになっております。

それで、私が言いたいのは、付属の備品がほとんど老朽化して、見えないとこ  
ろもございしますが、いろいろお願いして少しずつ直していただいているんです  
が、この運用見直しというのは取り壊しとかの意味ですか。家賃を上げて、財政  
難ですからここに補填するとか、そういうお考えか。または、きれいにして新し  
い住宅を建てていただけるのかとか。どういう見直しの方向で、これは考えれば  
よろしいんでしょうか。

大屋町長 ありがとうございます。すみません、ちょっと、今住んでいる方へ  
の配慮とか思いが少なくて申し訳なかったです。

今の住宅については、この先も使えるものについては長寿命化とか修繕をしな  
がら、今住んでおられる方もそのままだと思っています。この見直しというのは、  
年々、制度が変わってきて以前よりも所得制限が厳しくなっています。今の条件  
では、若い人たちが結婚して町営住宅にということは、若者定住や特公で条件が  
違うのは別なんです、普通のところには入れないです。入れないのが、今の現  
状です。

見直しというのは、そう言いながらも町営住宅はたくさん空いているので、一  
部試験的に、石見、瑞穂、羽須美で一カ所くらいずつ補助金等の縛りのないもの  
について、町独自で所得制限なく、ここに入ってもいいですよということができ  
ないかなと思っています。今の条件で入れない人たちを何とか救済できないかな  
ということを考えていて、今住んでいる方にご迷惑をかけるとかじゃなくて。古  
いとかいろいろあって申し訳ないですが、今のルールの中で順次、修繕とか、長  
く使えるようにしていこうと思っています。

わかりました。じゃあ、ぜひとも三本松をモデルにさせていただいて、きれいに  
直していただいてモデル住宅にしてください。どうかご一考をお願いいたします。  
大屋町長 ちょっと雑談です。町営住宅も以前からずっとあるものと新しいもの  
がある。Iターンの方は、Iターン専用の条件で入れるところがある。長く住ん  
でいて、若い人たちも最初は条件で入れたけど、子どもが増えてきて場所を変わ  
りたいけど、変われないとか、町営住宅のルールの中で現実上、非常にご迷惑と  
か負担をかけていることもあるので。古いというのはちょっと許してもらいた  
いんですけど、みんなピカピカにはなかなか。最低限の設備は整えますが。

もちろん最低限の先ほど言ったような配管とか腐敗して濁り水が出るとか、そ  
ういうことも多々ありますので、最低限の生活をさせていただければもちろん結  
構です。

ただ、こちらも住まわせていただいている身分ですので、いくら家賃を払って  
いると言っても。だから、その辺は上手く調整していただいて、財政難ではあり  
ますが、人間が住むことなので。それから、それだったら、あんたたち出て行っ  
て空き家を買ってやれやとおっしゃれば、それまでの話なんですけども。

大屋町長 ごめんなさい。最初に話をしたとおり財政難だからと、それがそのままご迷惑かけたくないということなので、やっぱり町の努力で何とかやり繰りをして、すべきことはしていかなきゃいけないですが。施設の数も多くて、全てが。そうなると学校だからということになる、そういう意味ではないんですが、最低限しなきゃいけないことはしっかりと。その財源を捻出するために、財政の見直し、改革をしなきゃいけないということもありますので。財政が厳しいから、我慢していただかなきゃいけないところはあるけど、教育だとか住環境とか別の話だと思っていますので。頑張ります。

また逐一いろいろお話をさせていただいて。せっかくですので、邑南町に住んで余生を過ごしたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

大賀総務課長 ありがとうございます。予定しておりました8時になりました。この辺りで閉会としたいと思います。閉会にあたりまして、白須副町長からごあいさつを申し上げます。

### 3. 副町長あいさつ

失礼します。本日もたくさんのご意見をいただきました。財政再建から小学校の統廃合、空き家対策、本当に各方面からご意見をいただきましてありがとうございます。時間も限られておりましたので、まだまだ質問し足りなかったことと思いますが、町長からもありましたこのQRコードを読み込んで、質問もできますので、ぜひよろしく願いいたします。

町長からも、ただ今、令和令和7年度の当初予算の編成作業を行っているという話がありましたが、非常に厳しい中で作業を行っております。各課で今までやってきた事務事業について、改めて見直しをして、見直すところはしっかり見直すという姿勢で進めております。新年度におきまして、こういった見直しや事業の廃止といったようなものが、少なからず皆さんの生活とか事業活動に影響が発生するかもしれないですが、こういう理由で、こう変わるということをしかりと説明しながら皆さんの理解を賜りたいと思っております。その際には、しっかりと皆さん方からも意見をお聞きして、その意見をまた今後の参考にさせていただきますので、よろしく願いいたします。

また、大きなところでいいますと、今日も話がありましたが、小中学校の在り方の検討、あるいは他の地域では、地域コミュニティの再編等の協議も進んでおりますが、こういったことも皆さんとしっかりと情報を共有しながら、皆さんと一緒に協働の立ち位置に立ってしっかりと進めて参りたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしく願いいたします。

最後になりますが、今日は天候が崩れると聞いておりますし、夜遅くなっております。お帰りの際は交通安全に気を付けていただけて、くれぐれも事故のないようにお帰りいただきたいと思っております。本日は長時間にわたりまして、ご意見ご質問いただきましてありがとうございました。

以上、簡単ではございますが、閉会のあいさつとさせていただきます。本日はありがとうございます。

大賀総務課長 ありがとうございます。以上をもちまして閉会とさせていただきます。ありがとうございます。